



2008年2月17日

東北大学

報道機関 関係各位

スプライト観測衛星「雷神」の運用状況について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

東北大学大学院理学研究科および工学研究科が開発したスプライト観測衛星「雷神」は、2009年1月23日(金)12時54分、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH-IIAロケットの相乗り副衛星の一つとして、種子島宇宙センターより打上げられました。「雷神」は、地表高度約670km、軌道傾斜角98.0度の地球周回軌道に投入され、1日に地球を約15回まわる飛行を継続しております。

「雷神」開発・運用チームでは、打上げ当日午後の第一可視より、東北大学理学総合棟の屋上に設置したアンテナを用いて、衛星からの電波を受信し、コマンドを送る運用を続けております。衛星の基本機能を確認した後、1月26日より衛星の回転運動を減衰させる制御を行いつつ、搭載カメラのテスト撮影を行いました。2月4日昼には、雷からの電磁波を受信しかつ衛星姿勢を安定化させるための、マストを伸展させました。(補足説明:雷からの電磁波は、まだ受信していません。)

しかしながら、2月4日夜より衛星の機能が正常でない状態が発生しております。開発・運用チームでは、日々の衛星の状況を監視しながら、地上モデルを用いた検証試験を実施して不具合の原因究明および回復手段の検討を進めておりますが、当初計画しておりました3月からのスプライトおよび地球ガンマ線現象の観測開始が遅れる可能性が高くなっています。

以上の経過説明を含め、衛星打ち上げから現在までの運用状況に関する報告会を、下記のとおり行いますので、出席される場合はお手数ですが2月19日(木)午後5時までに、総務部広報課(FAX番号:022-217-4818)宛て、お知らせくださるようお願いいたします。

記

日 時 : 2009年2月20日(金)

受付 午後2時30分

報告会 午後3時～

受付場所 : 東北大学大学院理学研究科 理学総合棟 1F ロビー

報告会場 : 東北大学大学院理学研究科 理学総合棟 2F 第3 共通講義室 (205)

(青葉山キャンパス, 自然史標本館の裏)

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/ja/third/campusmap03.html>

問合せ先 : 理学研究科・高橋幸弘准教授

工学研究科・吉田和哉教授

東北大学広報課 (022-217-4815)

以上